

令和5年度畜産技術講習会 開催案内

養豚専門コース

1. 講習期間：令和5年10月5日（木）～10月6日（金） 2日間
2. 開催場所：各所TV会議室（web会議可能な場所）
3. 日 程：日程表のとおり（別紙1）
4. 内 容：系統養豚事業の推進に役立つ専門知識を各分野の外部講師から解説いただきます。
養豚担当者のうち、2年以上の経験者向けの専門講座です。
5. 受講対象：JA、県連、県JA、系統出資会社、全農の飼料畜産推進担当者
6. 受講資格：経験2年以上の養豚飼料推進担当者、養豚担当者
7. 募集人員：5～50名
8. 受講申込：全農が提供する畜産総合情報サイト「JACCネット」よりお申込みください。

JACCネット：<https://jacenet.zennoh.or.jp/kensyu/chikusan/>



9. 申込期限：令和5年9月20日（水） 但し、定員になり次第締め切ります。

10. 受講料：24,200円（消費税含む）

※講習会終了後、請求書を郵送いたします。全農都府県本部は不課税金額を本所畜産生産部より付替えますので、JACCネットでの申込みに加えて「付替コード連絡票」（別紙2）を提出してください。

11. その他

- (1) JACC ネットからの受講申込完了後、登録されたメールアドレスに申込完了メールが届きます。メールが届かない場合は、受講が完了していない可能性があります。なお、定員超過等により受講いただけない場合は、別途研修事務局よりご連絡します。
- (2) 申込内容の変更やキャンセルがある場合は、速やかに研修事務局へご連絡下さい。また、研修開催日2週間前までにキャンセルのご連絡がいただけない場合は研修費用が発生しますのでご了承下さい。
- (3) 開催の約1週間前に、受講者へメールでweb会議システムへの接続方法をご連絡します。
- (4) Web 会議システムは、『Cisco Webex』を使用します。インターネットに接続された、Web 会議システム対応デバイス（PC、タブレット等）をご用意ください。

※参加可能な通信速度（目安）：下り（受信）2.5Mbps、上り（送信）3.0Mbps
大量のデータ通信量を消費するため、Wi-Fi 経由での接続を推奨します。

12. 問合せ先

全農 畜産生産部 推進・商品開発課 研修担当

TEL：03-6271-8236

メール：zz_zk_chikusan_kensyu@zennoh.or.jp

以上

令和5年度 畜産技術講習会 養豚専門コース カリキュラム

■日時： 10月5日(木)09:20 ～ 10月6日(金)16:40

■場所： Web研修、本所(JAビル 32F 3208会議室)

月 日	時 間	内 容	講 師	
10月5日 木曜日	09:20 - 09:30	研修オリエンテーション	畜産生産部 推進・商品開発課	
	09:30 - 10:30	日本国内の養豚経営について	農林中央金庫総合研究所 北原 克彦	
	10:50 - 11:50			
	11:50 - 13:00	昼食		
	13:00 - 13:40	豚マルキンの制度の理解について	農林水産省 畜産局企画課 畜産経営安定対策室 経営支援班 課長補佐 加藤 稔	
	14:00 - 15:20	クラスター事業および全農の PFS(新養豚経営試算システム)の理解 について/資金調達ガイドブックについて	JA全農 本所 畜産生産部 生産基盤課 渋谷 賢	
	15:40 - 16:40	JA畜産経営継承支援事業の理解について	JA全中 農政部 畜産・青果対策課 鈴木 大志	
		アンケート入力		
10月6日 金曜日	09:30 - 10:30	生産性向上技術の事例紹介 ・ミルクイーウィン/ボールフィーダーの使用方法	JA全農 飼料畜産中央研究所 養豚研究室 赤坂 大輔	
	10:50 - 11:50	生産性向上技術の事例紹介 環境モニタリング/p-scalの活用方法	JA全農 飼料畜産中央研究所 養豚研究室 赤坂 大輔	
	11:50-13:00	昼食		
	13:00 - 14:00	生産性向上事例について	ホクレンくみあい飼料(株) 業務部 業務開発課 笠崎 貴之	
	14:20 - 15:20	食肉に関する研究について	北海道大学大学院 農学研究院 基盤研究部門 畜産科学分野 応用食品科学研究室 准教授 若松 純一	
	15:40 - 16:40			
		アンケート入力		

※研修内容については、都合により、一部変更になる場合がございます。

FAX : 03-5218-2526

E-mail : zz_zk_chikusan_kensyu@zennoh.or.jp畜産技術講習会の受講料処理科目について
(付替コード連絡票)

上記の件について付け替え処理しますので、付替コードをお知らせ下さい。

1. 付替コード

講座名 :

開催月日：令和 年 月 日 () ~ 日 ()

受講生	(氏名)
所属	(都・府・県本部名から)
B Sコード	(都・府・県本部コード)
機構コード	(課などのコード)
勘定科目	通常は【542-542-01 (技術指導研修費)】となります。 上記以外の場合をご記入ください。 — —
ユニット	(部などのコード)
区分	(研修など目的のコード 無の場合は000)
摘要	

2. 経理処理ご担当者およびご連絡先

(1) ご担当者 (氏名) :

(2) メール :

(3) TEL :

(4) FAX :